

# 目からウロコの製品活用術 プロジェクターをもっと活用しよう

## プレゼンテーション用USBマウス

皆さん、先月号の手のひらサイズプロジェクターの記事に大変な反響をいただきましてありがとうございました。正直、私も驚きました。皆さん、プロジェクターをそろそろ利用して会議をしようかなあーと思っている方が多かったですね。私どもは、パソコンを当然のように日頃の会議や勉強会で利用しているので気がつきませんでした。別に自慢しているわけではなくて、もっと自社内で利用している便利なことをお客様へお伝えする必要があるなあということを実感しました。(反省)

さて、今回はプロジェクターを利用する上で更にレベルアップをして活用するためのツールをご紹介します。皆さんプロジェクターを利用する時の場面を想像して見てください……。皆さんが作成した資料をプロジェクターで映して、複数人に説明していますか。



皆さんは立っていますよね。そして、次のページを説明するためにパソコンの手の届くところへ行ってエンターキーを押しました。そして、またそのページを説明するために映し出されたところの近くに移動して説明をする……。いかがですか？そんなイメージだった方、何か無駄な動きはなかったですか？(そうでなかった方もいっしょに考えてください)。……。そうです。説明する時には、パソコンから離れて、映っているところで説明しているのに、次のページにする時パソコンのところまで移動しなければならないのです。

無駄ですねー。プレゼンテーションで必要なのは、内容も大切ですが態度も大切ですよ。パソコン操作をしている時間があれば、一人でもアイコンタクトをして内容の理解度や場の空気を敏感に感じるほうに、気を向けたほうがいいですよ。パソコンの操作に気を取られては、説明している流れが止まってしまう。



そこで、せっかく買った高価なプロジェクターをもっと活用するためには、**手元で次ページにできるワイヤレスの装置**の利用をお勧めいたします。

ハンディータイプで、**10m ぐらい離れていても大丈夫**です。**レーザーポインター**としての機能も持っています。プレゼンテーションの時に、これ一つ持っていれば万全です。指し棒もありません。

いかがでしょうか？皆さんのプレゼンテーションの新しいイメージが描けましたか？是非、社内会議で説得力のある説明にお役立て下さい。



IT 活用アドバイザー  
菊池 信寿

\*この「あい通信」は、当社で販売している**富士ゼロックス製品の複合機**(コピー・FAX・プリンター) DocuCentre-II C4300 で印刷しています。